



このコーナーでは、小田川市長が掲げる今年の漢字「地」にちなんだまちづくりを紹介します。

Vol.7

# 幼少期からの英語教育で世界に羽ばたく

園 教育委員会庁舎学校総務課 (内線 7105)

グローバル化が急速に進む現代社会。国境を超えた交流やビジネスは、今や日常的に行われています。このような社会の中、異文化理解や異文化コミュニケーションがますます重要となっています。それに伴い、国際共通語である英語の重要性が高まっています。

令和2年度、小学校での英語教育が必修化されましたが、つくばみらい市では、令和3年度からALT (外国語

指導助手) を公立幼稚園 (すみれ幼稚園、わかくさ幼稚園、谷和原幼稚園) に派遣し、幼少期からの英語教育に取り組んできました。さらに今年度は、各幼稚園に対してALTを専属で1人ずつ配置し、子どもたちが英語に触れる機会をさらに増やしました。

今月号の特集では、公立幼稚園3園の英語教育の様子をお伝えします!

## 「アジア圏でも高い英語力」フィリピンから来た3人のALT

フィリピンでは英語が公用語の一つで、アジア圏でも高い英語力を誇ります (英語能力指数ランキング\* アジア24カ国中2位)。また、3人とも英語を教えるための国際的な資格 (TESOL/TEFL) を持つほか、着任前に日本の文化や教育制度などの専門的なトレーニングを受け、6月から各幼稚園で子どもたちと触れ合っています。

※ EF Education First 社調査 / 2022年



ベル先生 (わかくさ幼稚園)



ライ先生 (すみれ幼稚園)



ゼル先生 (谷和原幼稚園)

## 「楽しみながら」英語に触れる

ALTによる英語の時間では、みんな英語を使ってコミュニケーションを取っています。英語の動画による歌やダンス、英語を使った遊びなどを通じて、子どもたちが楽しく英語に触れることができます。



英語でお天気を言ってみよう!



お魚たくさん釣れるかな?

とびきりの笑顔でレッツダンス!



ゴールに向かってダッシュ!

## 「日常的に」英語に触れる

英語の時間以外では、ALTは各クラスで保育のサポートをしています。ALTと子どもたちとのコミュニケーション手段はもちろん英語! 英語の時間以外でも、子どもたちが日常的に英語に触れています。